

「サイエンスカフェ in 静岡」第93話(2015年1月29日)

テーマ:動物の多様な環境適応

講師:鈴木 雅一 (理学部 生物科学科)

■ ご記帳者数 (記帳分のみ)

93名 (男性:58名 女性:35名)

■ 初めのご来店者数 11名 複数回の来店者数 82名

■ 職業別ご記帳者数

会社員:17	公務員:10	教員:8	自営業:6
主婦:9	小学生:0	中学生:3	高校生:6
大学生:5	不明:2	その他:27	

■ 年齢別ご記帳者数

19歳以下:9	20代:12	30代:9
40代:12	50代:12	60代:30
70代:7	80代:2	

■ 住所別ご記帳者数

葵区:28	駿河区:22	清水区:18	焼津市:8
藤枝市:2	島田市:1	掛川市:2	袋井市:1
浜松市:1	富士市:3	富士宮市:5	裾野市:1
熱海市:1			

■ アンケート回収数 32名

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。(複数回答有)

継続参加による周知:19

カフェからの電子メール:2 静大のWebサイト:0

カフェのブログ:1 eしずおかのイベント情報:0

カフェのツイッター:4 ポスター:9

その他(学校の先生から:1 静岡市新聞:1 Google:1)

■ ご意見・ご感想(20代)

- とても興味深い内容だった。ただ、レジュメにすべてのスライドをのせてほしかった。
- スライドが難しかったです。温泉で暮らす魚興味深いです。映像でみられてよかったです。

■ ご意見・ご感想(30代)

- ミクロな研究内容と思いきや、とてもマクロな世界を対象としていると感じました。資料(レジュメ)はとてもわかりやすく、バランスがとれていて、見やすいものでした。ありがとうございました。

- ひとくちにアクアポリンと言っても場所によって種類が異なり、適したものがちゃんと備わっていることに、進化とは適応なのかなあとぼんやりと思い巡らせたりしてました。今回も面白い話をありがとうございました。
- 画像をもとに説明していたので分かりやすかったです。たとえ高アルカリの環境でも、例えばチョウチンアンコウが深海の環境がちょうどいいように慣れてしまえば、それが普通になるのですね。改めて生物の適応能力ってすごいなと思いました。やっと数学パズルが解けたと思ったら今回で最後、さみしいです。

■ ご意見・ご感想(40代)

- 珍しい分野の今日の話は、奥深い難しかったけれど面白かったと思う。
- 医学で体内のイオンバランスがなどの話は良くきくが、そのメカニズムの基本部分にかかわる事で面白く聞けた。

■ ご意見・ご感想(50代)

- ごめんなさい。よくわからなかったです。
- 本日、タンブラーをいただきました。雅一先生は、市民開放授業を受講したこともあり縁(因縁?)を感じます。長い長い受講でした。と中で、タンブラー進呈のオプションも出て再び行く気になったりと楽しい6年でした。ありがとうございました。

■ ご意見・ご感想(60代)

- いつもお世話になっております。企画する方、講師に交渉する方、スタッフでお世話する方々など、本当に感謝でいっぱいです。このようなカフェが末永く続きますように切に願っております。体内腎臓における水の再吸収能力にアクアポリンが働いているという〜カエルの種によるアクアポリンの型のちがいなど、本当に驚きました。実に合理的な(合理的な適応)営みという構造にびっくりしました。ありがとうございました。
- オーマンの高アルカリ泉の所に棲む魚類と他の硬水に棲む同一の魚類ではどこが進化(変化)してきたのでしょうか？
- 前半は研究のやり方等の講演でしたので、楽しく分りやすく受講できました。後半は、発生生物学等の知識がないと難しく多数のタンパク質の名前等が出てきて、面白いような分からないような感じでした。最終的には分からなかったかな。アクアポリンを家に帰ってから調べなくては(笑)(この前から常連さんが戻って来ました。よかったよかった(笑))
- 生物は水が重要で体内、体外との水の交換をしており水の交換が重要。交換のシステムアクアポリンにも種類があり、はたらきも多様であることがわかった。ホルモンも関与しており、生物の進化の過程においても重要であることがわかった。
- アクアポリンによる環境適応・・・のからくりは、これまでの私の知識を越える思いがけない結論でした！！
- 小さな生物程、生きることにまじめでどん欲で柔軟、どんどん環境に適応してい

こうとする。水を保持する為、こんなにもがんばっている小さな魚やカエルに感動します。

- 生物のしぶとさに感心です。

- **ご意見・ご感想(70代)**

- いつも楽しく参加させていただいています。

- **ご意見・ご感想(80代)**

- 企業に35年、この間海外勤務3年(ブラジル)55才で退職後、56才～73才までの18年間、公私立高校教師(数学、物理担当)その後2年間自治会役員を経験し、2010年～静大市民講座(フランス語、政治、経済学、生物学(理学部の塩尻教授、理学部の木寄准教授))に参加しました。今後も生物学とフランス語の講座に参加予定。本講座も積極的に参加したい。